

犬の飼い方

ホントにそれで
大丈夫？

犬の飼い主の
皆さんへ



「犬の登録」きちんとしていますか？

狂犬病予防法では、所有してから 30 日以内に市町村に犬の登録をすることが義務化されています。保護犬、譲渡犬なども含め、生後 91 日を経過した犬はすべて登録の対象になります。

登録の目的は「犬がどこの誰に飼われているのか？」所有者と所在地をはっきりさせることです。畜犬登録の情報は行政のデータベースに反映され、どこの住所でどんな犬が飼われているのか把握しています。万が一、狂犬病などが発生した場合でも、発生源と影響範囲を突き止め、迅速な対応を行うことが可能となります。

また登録時に交付された鑑札を首輪に装着しておくことで、迷子になったときに飼い主をすぐに特定できる、集合注射などの個別通知が届くなど、飼い主にとってもメリットがあります。

登録、その他変更の届出については、役場健康福祉課までお問い合わせください。

「狂犬病予防注射の接種」と「注射済票」の交付を毎年忘れずに！

犬の飼い主は毎年 1 回、4 月～6 月に狂犬病予防注射を受けさせることが義務付けられています。動物病院で注射を受けられた場合は、病院から受け取った接種済の証明を役場に持参し、必ず「狂犬病予防注射済票」の交付を受けてください。

※集合注射で接種した場合は、改めて役場で手続きを行う必要はありません。

病気や高齢などの理由で狂犬病予防注射を見送るように指導されている場合は、毎年 1 回「狂犬病予防注射見合わせ証」等の発行を受け、役場健康福祉課へ提出してください。



注射をしないとどうなるの？

万が一、注射を受けていない飼い犬が咬傷事故を起こしてしまった場合には、特に大きなトラブルに発展することがあります。また、狂犬病は犬に噛まれることで人にも感染する病気であるため、人が噛まれた場合の危険性も高くなります。狂犬病は人が感染し発症すると、ほぼ 100% 亡くなると言われる、とても危険な病気です。

周囲に人はもちろん、飼い主自身の安全のためにも、必ず狂犬病予防注射を受けましょう。



ペットとの生活を楽しむために、散歩の仕方、糞尿の処理、エサやりの方法など、近所の方に迷惑をかけていないか、今一度確認しましょう。

【問合せ先】役場健康福祉課（電話 72-1852）

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

知っていますか？ 糖尿病患者の死亡原因

皆さんは、糖尿病患者さんの一番の死亡原因が何かご存じでしょうか。

「腎不全でしょう」と思われるかもしれませんが、それは違います。「高血糖による昏睡かな」とも考えられますが、それも違います。

実は一番の死因はがん、悪性腫瘍です。糖尿病患者さんのがんによる死亡率は38%で、第二位が感染症の17%、第三位は血管障害（心臓、脳卒中など）の15%です。「それじゃ一般の人と変わらないの？」と思われるかもしれませんが、実は糖尿病患者さんは一般の人よりもがんになりやすいんです。

糖尿病患者さんのがん発症率は、一般の人に比べてがん全体で1.26倍、肝臓がんで2倍、膵臓がん1.5倍、腎臓がん2倍、大腸がん1.5倍、子宮体がん2.7倍、乳がん1.7倍となり、ほとんどののがんの発症を増やします。これは軽い糖尿病の患者さんもコントロール不良の患者さんも含めた値で、糖尿病のコントロールが悪いとさらに発がん率は上昇します。

早期発見のため適切に がん検診を受けましょう

「こんなにいろんながんになりやすいなんてどうすればいいのか？」と思われる方もいるでしょう。

まず、適切にがん検診を受けることが大切です。市町村によるがん検診、つまり胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、女性はさらに乳がん、子宮がん検診を受けてください。

胃がん検診はできるだけ胃カメラを受けてください。さらに糖尿病の患者さんにとって重要な肝臓と膵臓の検査が必要です。肝臓関連死は肝臓がんと肝硬変

を合わせて死因の10%になりますので、腹部超音波検査を受けて肝胆膵のがんをチェックしましょう。腹部超音波検査を受ければ腎臓も膀胱も確認できます。

男性では胃カメラ、腹部超音波検査、検便（大腸がんのチェック）、胸部レントゲン（喫煙歴のある方はできれば低線量CT）を、女性にはこれに加えてマンモグラフィ（乳がん）、子宮細胞診（子宮がん）、できれば子宮の超音波検査をすればほとんどのチェックが可能です。胃カメラを除けばそれほど負担の大きい検査はありません。ぜひ毎年受け、その結果を主治医の先生に報告しましょう。

私の外来では患者さんに検診結果を報告してもらい、カルテに記載し、抜けることがないように気をつけています。これらの検診を受けた上で日野病院が行っているMRIによるDWIBS全身がん検診を受ければより安心です。詳しくは日野病院のホームページをご覧ください。

もう一つ糖尿病の患者

さんが知っておかなければいけないことは、今までと同じように食事療法、薬物療法をしているのに、急に血糖のコントロールが悪くなったときは要注意です。

暴飲暴食をして糖尿病が悪化するのとは当然ですが、そんな覚えがないのに悪化した場合はがんができてくる可能性があります。特に膵臓がんができるとう糖尿病が悪化します。そんなときは主治医の先生に相談して精密検査を受けましょう。

糖尿病の患者さんは一般の人以上に、しっかりとがん検診を受けることが大切です。検診をついつい先延ばしにしないように主治医の先生にチェックしてもらうのもいい方法です。

